

森林回りきかせ版

すゞく

2020
秋

18 丸太を斧とナイフで加工してみる

切ってきた木は、すぐ加工できる。木によって、いろんなクセ(木目)がある。じつと切り目を観察してみよう。

19 森の中の道作りを学ぶ

森はほったらかし、ではダメなんだ。きちんと整備していくことが大切。

20 考えてみよう!
森の博士になるためには??

丹波篠山市、丹波市には、森に詳しい人たちがたくさん!森にどんな生き物がいるかを探ってみたり、森での活動に参加してみたり。森のことが少しでも好きになったら、これで君も森の博士だ!

17 森の中に広場(デッキ)をつくる

もっと森について知りたい!
▶ QRコードへアクセス



16 森で、ごはんを食べてみよう

ほくほくのおむすびを、森で食べるだけで、いつもより美味しい感じるかも??

15 考えてみよう!
なぜ森を守るの??

正解はどこにもないけれど、みんながそれぞれ考えることが大事。裏面に山を守る人の考えが載ってるよ。読んでみよう。

3コマ進む

GOAL

おめでとう



14 薪で焚き火ができるようになる

寒い時期の森の活動に、焚き火は必須。火の動きをみていると、なんだかリラックスしてくれるよ。

クイズ

チェーンソーの刃の数はいくつある?

09 落ち葉の中で一眠り

落ち葉は、森にとって、とても重要ななもの! なんでかって? 森の活動家たちに聞いてみよう!

1回やすみ

08 いい匂いがするぞ?
松茸を見つける

君の暮らす場所からもみえる森たちは、実は森を守る人たちの手によって守られている。身近にある森が、すごろくで遊ぶともっと身近に!
森のことを少し知って、森に遊びにでかけてみよう!

10 里山のツリーハウスに登る

森の活動家の『下三井庄自治会』のみんなで作った里山のツリーハウス! 高さはだいたい8m!

『下三井庄自治会』の活動へ
▶ 裏面につづく

11 ツリーハウスの高さに足がすくんでしまう

スタートに戻る

12 里山の中での演奏会を聴く

森の活動家『森の学び舎』が開催する森の演奏会。目をつぶって、耳をすませば、虫の声、動物たちの声が聴こえてくるかも?

『森の学び舎』の活動へ
▶ 裏面につづく

13 枝を切ろうとして、指を切ってしまった

07 考えてみよう!
森に植物は何種類いる??

森にはいろんな生き物、植物がいる。たくさんの生き物と一緒に生きるからこそ、豊かな森になるんだ。森を守るために、どこに植物が生いているか調査したりするよ。



06 暗くなってきたので家に帰る

1回やすみ

05 里山の中で遊んでみる

決まった遊び方がないのが里山遊びの面白さ。落ち葉を踏んでみる、木に登ってみる。いろんな遊び方を探ってみよう!

『NPOバイオマスマスフォーラムたんば』の活動へ
▶ 裏面につづく

01 近くの森を探してみよう

丹波篠山市、丹波市には、森がいっぱいあるよ。森は何年も、何十年も、何百年も生きている。

丹波地域の里山づくり活動を見てみよう
▶ 裏面につづく

02 森のある公園を散歩する

丹波年輪の里、丹波の森公園、ささやまの森公園など、森のある公園がいっぱい! でかけてみよう。

03 どんぐりを見つけた!

↑パンチで穴を開けて保存しておこう!

NEXT
正解は次回春号に

丹波の里山づくり促進事業実行委員会(兵庫県丹波県民局・丹波篠山市・丹波市・兵庫丹波の森協会)

詳しくは
こちら▶



事務局: 0795-73-3618



丹波の森づくりとは?

丹波(丹波篠山市、丹波市)の一番の魅力は、どこにいても身近に里山があること。このことを活かして、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造していく。そんな取組を「丹波の森」づくりと呼んでいます。

この取組が平成30年に30周年を迎えたことから記念シンポジウムを開催。これからの方針を提示し、ロゴマークを定めて、取組をさらに進めていくこととしました。

*「丹波の森」とは、森林や公園だけでなく、野や里や川なども含めて私たちが日常生活する空間全て=丹波地域全域を指します。

丹波の森宣言

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを次のように進めることを宣言します。

- 1 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 2 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- 4 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。



森のかわら版
2020 AUTUMN

丹波の山、森を守る人たち

森は、いろんな人たちの想いや力によって守られています。現在丹波篠山市と丹波市の森を守る団体の中から秋号では、3団体を紹介します。なぜ森を守るのか? 疑問にも答えてもらいました。

02 森の学び舎プロジェクト

すぐろく番号

12

西紀運動公園の山林にて、近隣都市の住民の方と一緒に、イベント開催で交流しながら、間伐や芝刈り・道づくり・広場のテーブルやベンチづくりを行い、森の中に人が集まるような環境整備を行っています。



●お問い合わせ: 〒669-2713 丹波篠山市倉本141(八百才舎) info@yaozaiya.com

もっと詳しく

すぐろく番号
01 17

動画でみる
『丹波の山、森を守る人たち』
の活動はこちから。



定期的な森での活動は、こちら。
丹波の里山づくり促進事業実行委員会
のフェイスブックをみてみよう。



01 NPOバイオマスフォーラムたんば

子どもたちが自然の中で遊び、学べる場所として、毎週土曜日にごんげんさんにて冒険広場を開催しています。地域の幼稚園や小学校の環境学習の場所として、安全に利活用していただけるよう、安全第一で整備に取り組んでいきます。



●お問い合わせ: 〒669-3604 丹波市氷上町犬岡162 bf@tamba.tv

Q どうしたら森博士になれる?

森へ友達を紹介したり、キャンプしたり、寄ってみたいなと思えるようになったら、知らずに魅力に心動かされているはずです。都会の喧騒もたまにはいいかもしれません、森に入ると癒される感覚が対比して感じられたとき、疑問と共に、もっと楽しむ方法を思案するはずです。その時、森を探求する博士になっています。

03 しもみのしょう 下三井庄自治会

すぐろく番号

10

「下三井庄区林野委員会」・「下三井庄里山保全の会」・「大路未来会議」の三者が協力し、地域の皆さんとワークショップを開催しながら、暮らしに活かせる持続可能な森林管理のための調査・活動を地元地域の山林で行っています。



Q なぜ森を守るの?

森が明るくなれば、いろんな植物が育って、虫や動物もたくさん暮らせるようになるんだよ。そうすればみんなも、森で遊んだり、植物や動物を観察したり、虫捕りしたり、楽しく過ごすことができるよね。たくさんの植物や動物、そしていろんな人たちが過ごせる森をつくるために、混みすぎた木を切ったり、草を刈ったりしているんだよ。

Q 山や森にはだいたいどれくらいの動植物がいる?

山や森の中には草地や川や池など、たくさんの環境があり、色々な動植物が暮らしています。海なども合わせて、日本には90,000種以上、兵庫県だけで16,000種以上の動植物がいて、その中でも一番多いのは昆虫です。しかし、まだ名前のついていない生物が、その何倍もいるといわれています。みんなの身近にある山や森にも、たくさんの新種がいるかもしれませんね。

●お問い合わせ: 〒669-4252 丹波市春日町下三井庄1471 masaru-h@net-work.ne.jp

発行元:丹波の里山づくり促進事業実行委員会

事務局:兵庫県丹波県民局丹波農林振興事務所森林課

製作:サナノワ合同会社

企画/編集:株式会社KUUMA

デザイン:赤山朝郎

絵:鈴村温